

行政視察等報告書

平成31年2月18日

米子市議会議長様

(会派の場合)

会派名 公明党議員団

代表者氏名 安田 篤

提出者氏名 今城 雅子



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	安田 篤・前原 茂・今城雅子・矢田貝香織
期 日	平成31年2月5日から平成31年2月7日まで
〔概要〕(年月日・場所・内容)	
2/5 北九州市役所 「リノベーションまちづくりの推進について」 担当；北九州市 産業経済局 商業・サービス産業政策課	
2/6 益城町役場仮庁舎 「熊本地震復興について」 担当；益城町 危機管理課、企画財政課、健康づくり推進課	
2/7 熊本市動物愛護センター「ハローアニマルくまもと市」 「人と動物との共生推進の取り組みについて」 担当；熊本市 健康福祉局 健康衛生部 動物愛護センター	
〔所感〕 別紙記載	
経 費	旅費総額 225,695円

【所 感】

○北九州市役所 「リノベーションまちづくりの推進について」

説明者；北九州市 産業経済局 商業・サービス産業政策課 石松亨介 係長

北九州市では、リーマンショック以降、中心市街地の支店・支社のオフィスが福岡などに統合され撤退したため、急速に空室率が上昇し、街なかの人が減少し賑わいが減り、そのためにテナントがさらに減少し路線価が下落する「負のスパイラル化」が発生。

このような中、都市再生プロデューサーである「清水義次氏」の助言のもと『補助金に頼らず自立するまちづくり』を目指し、これまでと違うアプローチとして、空き店舗の増加は『豊富にあるストック物件』であり、エリアの路線価の下落は『家賃を安く始められる』として、今あるものを活用して、都市部に新しい産業（ビジネス）を集める『リノベーションまちづくり』を開始する。

民間主導の「官民連携」を基本とし、『①民間事業者が主体。②ビジネスベース（収益を上げる）。③小さな投資を積み重ねる。』として、行政の取り組みとしては、伴走しながらサポートする体制を取り、街を劇的に変えるために「構想（方向性）の策定の支援→モデルエリアの設定」「志の高い不動産オーナーとプレーヤーを見つける」「事業化に向けた仕掛けづくり→リノベーションスクール等の開催と円滑な許認可の支援」を行う。

このような取り組みにより、多くの休眠不動産が再生、500名超の雇用の創出、商店街の通行量が約3割増加。となった。

本市の中心市街地の活性化において、視点を変えることやチャレンジの方向性として、大変に示唆のある参考にすべき内容であった。

○益城町役場仮庁舎 「熊本地震復興について」

説明者；益城町 危機管理課 危機管理係 奥村敬介 主事
企画財政課 復興企画係 西村耕一 主査
健康づくり推進課 健康増進係 上田香代子 参事

平成28年熊本地震、震度7の地震が2度発生したことにより、町の10,700棟の建物の中で10,584棟が一部損壊から全壊までの被害となり、最大避難者は町の人口の約半数の16,050人が10の避難所に避難するなど、全く想定していない町内全域規模の被害状況となった。

度重なる余震により青空避難者や車中避難者が多数存在し、自宅庭先・畑のビニールハウス避難など、避難者の全容把握が非常に困難となり、町役場庁舎の被害や九州電力から提供された緊急電源も消失し、行政機能が停止となった。さらに、250名中150名の職員が被害状況の把握や避難所運営の対応に追われ、現場は大混乱となった。

避難所運営では、①避難所運営人員の確保が重要。行政だけの運営はできない。小学生～大学生の学生ボランティアが活躍。その後、大人への広がりとなり円滑に進めることとなった。②避難所内での情報共有。避難所リーダー会（役場職員、教職員、避難者代表、各支援団体、被災者ボランティア代表など）を設置し毎日2回のミーティングを行う。

③各支援団体との連携。発災当時、災害対応の各支援団体の存在すら知らなかった。支援を申し出られても怪しい団体ではないかと敬遠する状況もあった中、『EARTH、AMD A、セーブ・ザ・チルドレン、ピースボート災害ボランティアセンター、JVOAD』など各種団体からの支援があったことで、職員が本来業務にもどる引継ぎができた。④被災者の心のケア対策。身体と心のケアに対して、国・県の支援や、各所から集まった保健師・専門職が「我がこと」として取り組む支援の連携と、住民アンケートから「早期対応者」を判断し重症度別フォローを実施することができた。現在も進行中である。

地質や環境要因などからの災害想定が曖昧かつ小さかったこと。町職員も被災者であり参集できない状況を想定できていなかったこと。自主防災組織が設立されておらず機能していなかったこと。災害支援団体の存在を知らなかったこと。など、これまでの防災の取り組みの盲点などを教示いただいた。

本市でも実際に大規模災害等が発生した場合、避難所運営支援として各種災害支援団体との災害時協定を推進し、自主防災組織や中学校での避難所運営など様々な形の訓練を実施する必要性を深く感じた。

○熊本市動物愛護センター「ハローアニマルくまもと市」

「人と動物との共生推進の取り組みについて」

説明者；熊本市 健康福祉局 健康衛生部 動物愛護センター 村上睦子 所長

昭和45年畜犬管理所として現在地に移転。平成14年1月熊本市動物愛護推進協議会を設立し「処分数ゼロ」を目指す。同時に、安易な犬猫の引き取り依頼者への説得（飼い主責任の徹底）を本格化。これにより、当初は飼い主との軋轢も相当あった（現在もある）が徐々に市民の意識が変わってきた。平成18年8月譲渡前講習会を開始し、平成19年1月からガス殺処分を中止。その後、犬の殺処分ゼロを達成し、熊本地震を契機に「ペットの一時預かり事業」（熊本市独自事業）を開始。

動物愛護センターも関係する、熊本市動物愛護推進協議会の活動及び動物愛護推進員（25名）の活動が、同市の動物愛護推進の根底を成している。特に「動物取扱業者の代表」の方が加わることが特記すべきことである。同協議会は4つの事業を行ない、アニマルハートフル事業として熊本市動物愛護センター主催の休日譲渡会での譲渡希望者への対応等を行っている。また、広報活動として『迷子札をつけよう100%運動』のステッカー等を作成。その中で「もし迷子になったら」の連絡先「熊本市動物愛護センター」の電話番号を大きく記載したことで、迷子動物の連絡・問い合わせが確実に広報され、保護犬・猫の返還が多く行われている。

動物愛護センターは、市の健康福祉局・健康衛生部に所管され「動物愛護管理法」等に則った業務を行っている。ペットを飼えなくなっても、自ら2回の譲渡広告をした上でなければ犬猫の引き取をしないなど、無責任な飼い主の安易な引き取り要請を拒否し、譲渡先を懸命に探して、殺処分される犬猫を劇的に減らした「熊本方式」と呼ばれる同センターの取り組みと職員の皆さんの情熱は、本市において、今後目指すべき動物愛護の施策に多くの示唆を与えて頂けたと強く感じた。

行政視察行程（会派：公明党議員団 4名）

月 日	行 程	宿 泊 先
2 / 5 (火)	8:19 8:25 10:35 10:51 12:16 (昼食) 米子駅 == (伯耆大山駅) == 岡山駅 ===== 小倉駅 *** 北九州市役所 JR 特急やくも 8号 JR 新幹線のぞみ 11号 徒歩	東横イン熊本駅前 ☎096-351-1045
	北九州市行政視察 午後2時00分から午後3時00分まで 【調査項目】リノベーションまちづくりの推進について 【議会事務局】☎093-582-2632	
	15:26 16:21 小倉駅 ===== 熊本駅 JR 新幹線さくら 557号	
2 / 6 (水)	8:51 9:35 熊本駅前駅 ===== 健軍町駅 . . . 益城町役場仮設庁舎 熊本市電A系統・健軍町行 タクシー	東横イン熊本駅前 ☎096-351-1045
	益城町行政視察 午前10時00分から午後0時00分まで 【調査項目】熊本地震復興について ※木山仮設現地視察 【危機管理課】☎096-286-3210	
	13:05 13:48 健軍町駅 ===== 熊本駅前駅 熊本市電A系統・田崎橋行	
2 / 7 (木)	9:10 9:27 熊本駅 ===== 竜田口駅 . . . 熊本市動物愛護センター (ハローアニマルくまもと市) JR 豊肥本線・肥後大津行 タクシー	東横イン熊本駅前 ☎096-351-1045
	熊本市行政視察 午前10時00分から午後0時00分まで 【調査項目】人と動物との共生推進の取り組みについて ※動物愛護センター現地視察 【議会事務局】☎096-328-2687	
	12:53 13:08 14:10 15:00 15:10 16:52 17:04 19:16 19:20 竜田口駅 ===== 熊本駅 ===== 博多駅 ===== 岡山駅 == (伯耆大山駅) == 米子駅 JR 豊肥本線・熊本行 JR 新幹線つばめ 326号 JR 新幹線のぞみ 42号 JR 特急やくも 21号	

旅費計算表

平成31年2月5日 ～ 平成31年2月7日 (2泊3日)

月 日	区 間	鉄 道 路 線 名	区 間 キ ロ 数	目的 地 ま で の キ ロ 数	運 賃	グ リ ー ン	急 行 料 金		日 当 宿 泊 料		
							特 別	新 幹 線	議 員 1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
2/5	米 子 ～ 岡 山	JR	159.1		9,320	往復割	1,240		1,500		5,400
(火)	～ 小 倉	JR	374.8					4,620			
	小 倉 ～ 熊 本	JR	185.6					3,770			
2/6	熊 本 ～ 健 軍 町	熊本市電	8.7		170				1,500		5,400
(水)	健 軍 町 ～ 熊 本	熊本市電	8.7		170						
2/7	熊 本 ～ 竜 田 口	JR	8.9						1,500		
(木)	竜 田 口 ～ 熊 本	JR	8.9		9,320	往復割					
	～ 博 多	JR	118.4					7,650			
	～ 岡 山	JR	442.0								
	～ 米 子	JR	159.1				1,240				
計	議 員 旅 費			52,800	18,980	0	2,480	16,040	4,500	0	10,800
	随 行 旅 費			0							

出 席 議 員 今城雅子、前原 茂、安田 篤、矢田貝香織

議員旅費	52,800 × 4名 =	211,200 円
タクシー代	910 × 1 =	910 円 (小倉駅→北九州市役所)
タクシー代	4,280 × 1式 =	4,280 円 (健軍町駅⇄益城町役場仮設庁舎)
タクシー代	3,560 × 1式 =	3,560 円 (竜田口駅⇄熊本市動物愛護センター)
お土産代	5,745 × 1式 =	5,745 円 (益城町、熊本市)
旅費総額		225,695 円

福岡県北九州市・熊本県上益城郡益城町・熊本県熊本市
公明党議員団 会派行政視察